工事説明書

後付けミストユニット

品名	AMU-2

■工事される方へお願い
- この機器を正しく安全にご使用いただくため、この工事説明書をよくお読みになってから、指定された工事をおこなってください。本書の設置条件を外れた設置が原因で生じた故障などは、保証期間であっても、有料修理になります。
- 工事終了後、工事後の点検のチェックリストにもとづいて再確認してください。
- 試運転とお客様への取扱説明をおこなってください。（お客様からのクレーム防止のため、必要です）
- 工事終了後、取扱説明書（保証書付）の保証書に必要事項を記入し、必ずお客様に渡してください。

工事後の点検

工事が終わったら、チェックリストにもとづいて必ず再確認をおこなってください。

●チェックリスト

点検項目		点検内容	参照ページ	チェック
機器	設置条件	推奨位置あるいは、推奨設置高さに設置していますか。	6	
	安定設置	強固に設置され、ガタツキはないですか。	14	
配管工事		配管接続部からの水漏れ、配管接続の間違いはありませんか。	11〜13、15	
試運転		試運転は正常でしたか。	16〜17	
お客様への説明		正しく快適に使用してもらうため、説明しましたか。	18	

試運転

16〜17ページにもとづき、必ず試運転を実施して正常に運転することを確認してください。

お客様への取扱説明

- 取扱説明書に従って「使用方法」を説明してください。
  特に取扱説明書の「必ずお守りください（安全上の注意）」をよく説明してください。
- 保証書に必要事項を記入してください。
  また、取扱説明書の「アフターサービスについて」を説明してください。
- 取扱説明書（保証書付）をお客様に渡してください。

1.安全上のご注意

※以降は、「後付けミストユニット」を「ミストユニット」と表記します。

工事を誤った場合に生じる危害・損害の程度を、次のように区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

一般的な禁止

必ずおこなうこと

⚠警告

	機器を正しく安全にご使用いただくため、この工事説明書をよく読み、次の法・基準・条例などに従って設置してください。 ・建築基準法　・水道法　・電気設備に関する技術基準　・当該地区の市・町・村火災予防条例
	据付けはお買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。 お客様自身で据付けをされ不備があると、水漏れや火傷の原因になります。
	据付けはこの工事説明書に従って確実におこなってください。 据付けに不備があると、水漏れや火傷の原因になります。
	据付けは機器質量に充分耐えられる場所に確実におこなってください。 強度不足や取り付けが不完全な場合は、機器の落下によりケガの原因になります。
	浴室以外（脱衣室・クローゼット等）には絶対に取り付けないでください。 温度の上昇やミストで濡れることにより、壁や天井のクロスの変色やはがれ、可燃性ガスを含んだスプレーの発火・爆発等思わぬ事故の原因になります。
	据付工事部品は必ず付属部品および指定部品を使用してください。 当社指定部品を使用しないと、ミストユニットの落下・水漏れや火傷の原因になることがあります。
	製品の仕様変更、改造は絶対にしないでください。 ケガ・水漏れの原因になります。

⚠注意

	ミスト運転中は、必ず浴室のドア・窓を閉めてください。 ドアを開けたままミスト運転をすると、脱衣場にミスト（湿気）が漏れます。
	部品の取り付けは確実におこなってください。 落下によりケガをするおそれがあります。
	ミストユニットへの接続には温泉水や井戸水や硬度の高い水（全硬度：100mg/L以上）、地下水または塩水を使用しないでください。配管の腐食による水漏れ、また、変色・腐食等により性能および耐久性を著しく損なう原因になります。
	温泉水や井戸水や硬度の高い水（全硬度：100mg/L以上）を引き込んだ浴室には設置しないでください。温泉水や温泉成分を含んだ入浴剤を使用した湯水が機器・配管・機能部品・ミストノズル等に付着すると、変色・腐食等により性能および耐久性を著しく損なう原因となります。
	可燃性ガスの漏れるおそれのある場所には設置しないでください。 万一ガスが漏れてミストユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

2.設置前の確認

■ 浴室について

●適応浴室サイズ

在来工法	1.25坪まで
ユニットバス	1625サイズまで

※天井設置形の浴室暖房乾燥機が在来浴室に設置されている場合には、ミストユニットは取り付けないでください。
（天井材（バスリブなど）の種類によってはミスト運転時の天井裏への湿気流入やミストサウナ入浴時の暖房性能が保証できません）

●以下の浴室には取り付けないでください。補修をおこなえば取り付けられることもあります。

- 土やしっくい、木の壁の浴室
- 広い浴室（適応浴室サイズより広い）
- 適応浴室サイズ以内でも暖房負荷が高いような浴室（例：室外と面している外壁が三面ある浴室。大きな窓（1m² 以上）がある浴室など。）
- 壁にひび割れや損傷がある浴室（補修が必要）
- 接着タイプのタイル張りの浴室（はく離強度の確認）
- その他特殊な壁の浴室（材質の確認が必要）
- ユニットバスの場合、壁面材質や構造、壁厚の強度などについて確認が必要と判断されるものについては、事前にユニットバスメーカーにご相談ください。

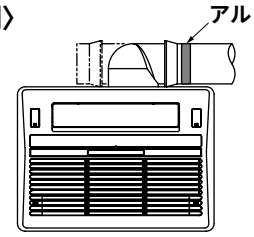
●ミスト運転後の湿気を除くために、換気扇などの換気設備が必要です。

●ガス温水浴室暖房乾燥機が設置されている場合の確認

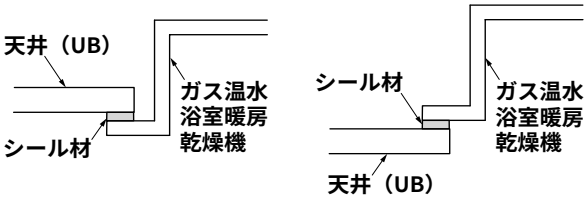
- 耐湿・耐久性能などの保証があるかどうか、確認します。
（1999年製以前のガス温水浴室暖房乾燥機が設置されている場合、このミストユニットは設置できません）
- ガス温水浴室暖房乾燥機の電源回路に漏電しゃ断器が設置されているかまたは、アース工事（アース接続）がされていることを確認します。

- 天井設置形のガス温水浴室暖房乾燥機については、換気ダクト接続部全周にアルミテープが巻かれていることを確認します。

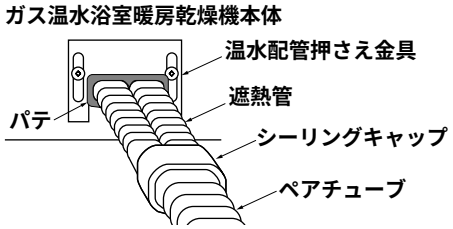
〈例〉



- 天井設置形のガス温水浴室暖房乾燥機については、本体と天井とのすきまから湿気が浴室の外（天井裏）に出ないようにシール材でふさがれているか確認します。



- 天井設置形のガス温水浴室暖房乾燥機で、温水配管が本体の内部で接続されている機種については、本体の温水接続口から湿気が浴室の外（天井裏）に出ないようにパテでふさがれているか確認します。補修する場合は、パテが直接樹脂管部に接触しないようにします。



●給湯栓についての確認

- 「給湯栓と浴室をつなぐ配管が取り外し可能」で、主に「サーモ水栓が設置されている場合」または、「サーモ水栓に交換する場合」を対象にしています。取り付け可能かどうか、十分に確認します。
- 給湯機器のリモコンで設定した温度が給湯栓から出ない場合や、サーモ水栓の温調で温度が変化しない場合は、給湯栓を取り替える必要がありますので、注意します。

■ 給湯機器について

- 給湯能力が 16 号以上のガス給湯機器
- 直圧式で、給湯ホース接続口の動圧が 0.15MPa（1.5kgf/cm²）以上が必要です。
  （貯湯式給湯機器については、エコウィルシリーズのみ対応します）
  （オイル熱源では、動圧 0.2MPa（2.0kgf/cm²）以上のガス化比例バーナーが対応します）
- 最低作動水量が 3.5L/min 以下であることが必要です。
  ※ 給湯機器（給湯暖房機・ふろ給湯器）は給湯温度が 60℃以下に設定できることを確認します。
  ※ ダイヤフラム式水圧変動バルブを備えた給湯機器には設置（接続）できません。

■ 給湯配管の分岐工事が必要です。

●使用される水の給水圧等の確認

- 全硬度 100mg/L 以下の水道水（上水）を使用してください。温泉水・井戸水などは使用できません。
- 本機器が使用できる水道水圧は 0.15 ～ 0.5MPa（1.5 ～ 5kgf/cm²）の範囲です。
- この機器をお客様に快適に使っていただくには、給水圧力が 0.15MPa（1.5kgf/cm²）以上は必要です。
  特に水圧が低い場合には、機器の能力が十分発揮されず、お客様とのトラブルの原因にもなりますので、加圧ポンプを設置する等の対策が必要です。
- 0.5MPa（5kgf/cm²）をこえる場合や台所の給湯栓などの操作時に水道配管の異常音（ウォーターハンマー現象）が発生する場合は減圧弁を必ず取り付けます。
  減圧弁の設定圧力は 0.5MPa（5kgf/cm²）です。

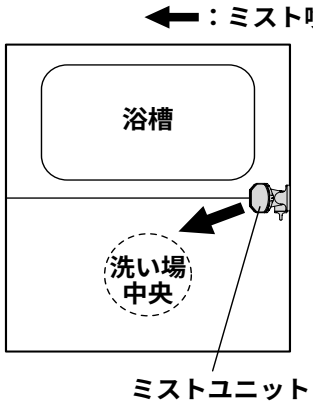
3.設置位置の決定

1. 設置位置の注意

- 浴槽の縁部(エプロン部)や点検口部、またユニットバスなどのカウンター部で取付強度が確保できないところには設置できません。
- ミストユニットを設置するための下穴の場所は、ユニットバスの補強桟(金属)を避けてください。(壁裏センサーでチェック)
  (注意)パネルとパネルの合わせ目には、補強桟が入っています。穴開け位置は、補強桟から50mm以上離してください。

2. ミストユニットは、ミスト噴霧が洗い場の中央になるように、下図のような位置に設置してください。

(最終的にはお客様とよく相談して決めてください)



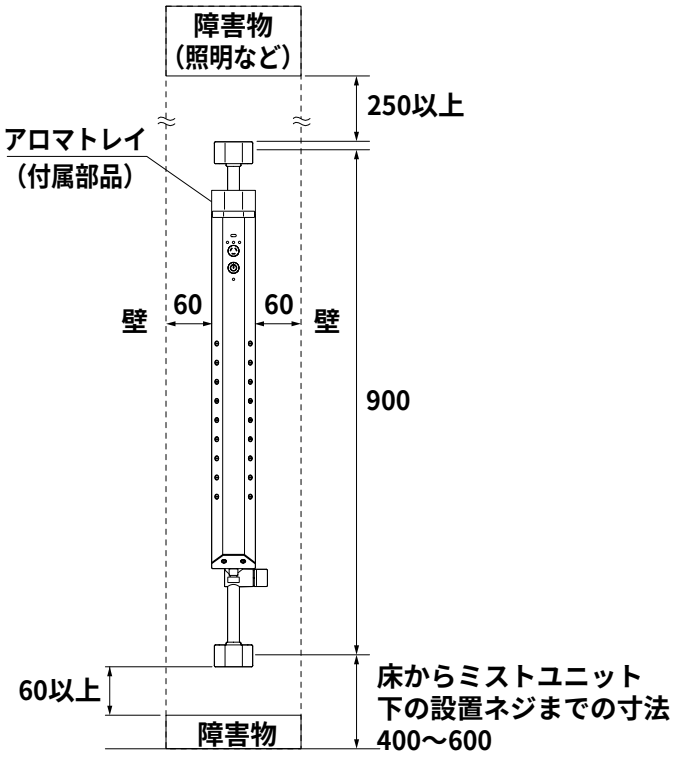
⚠注意

- 浴室内にガス温水浴室暖房乾燥機のリモコンなど(浴室テレビや浴室リモコンを含む)を設置している場合は、ミストユニットのミストが直接あたらないように本体を配置するか、ミストが直接かからない場所へリモコンなどを移設してください。
  リモコンなどを設置する場合は、取付位置についてお客様とよく相談して決めてください。

3. 取付スペース

下図のようなスペースが必要です。

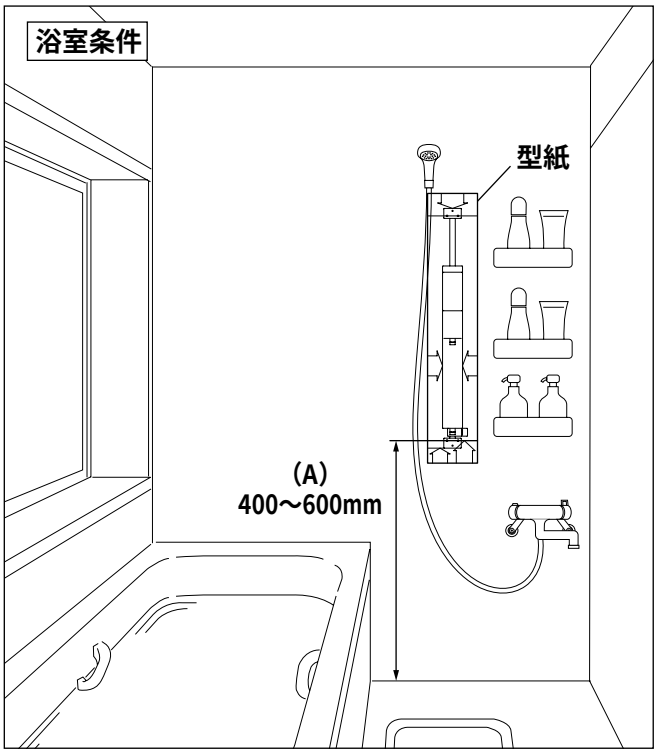
(単位：mm)

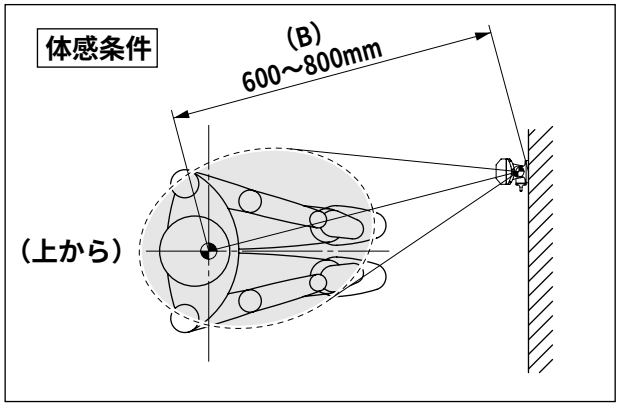


4.推奨設置高さ

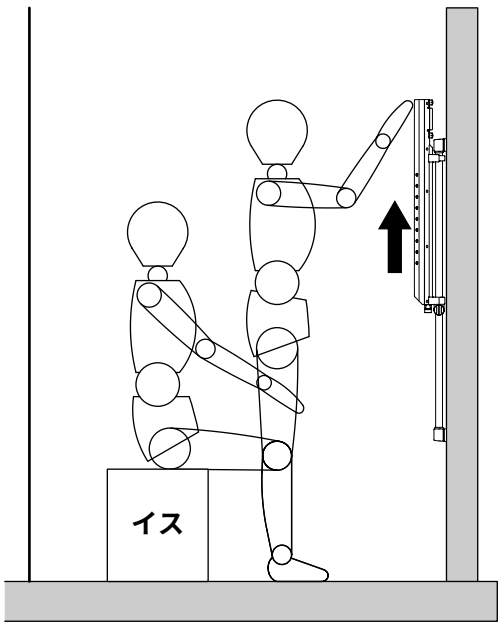
（注意）下図は目安であり、身長などにより多少異なる場合があります。（成人女性を基準とした場合の目安）
水圧0.2MPa時の図です。

お客様がミストを浴びる位置により、ミストユニットの設置高さが決まります。





・ミストユニットを設置したときに、上へスライドさせても、電池交換できるか確認してください。

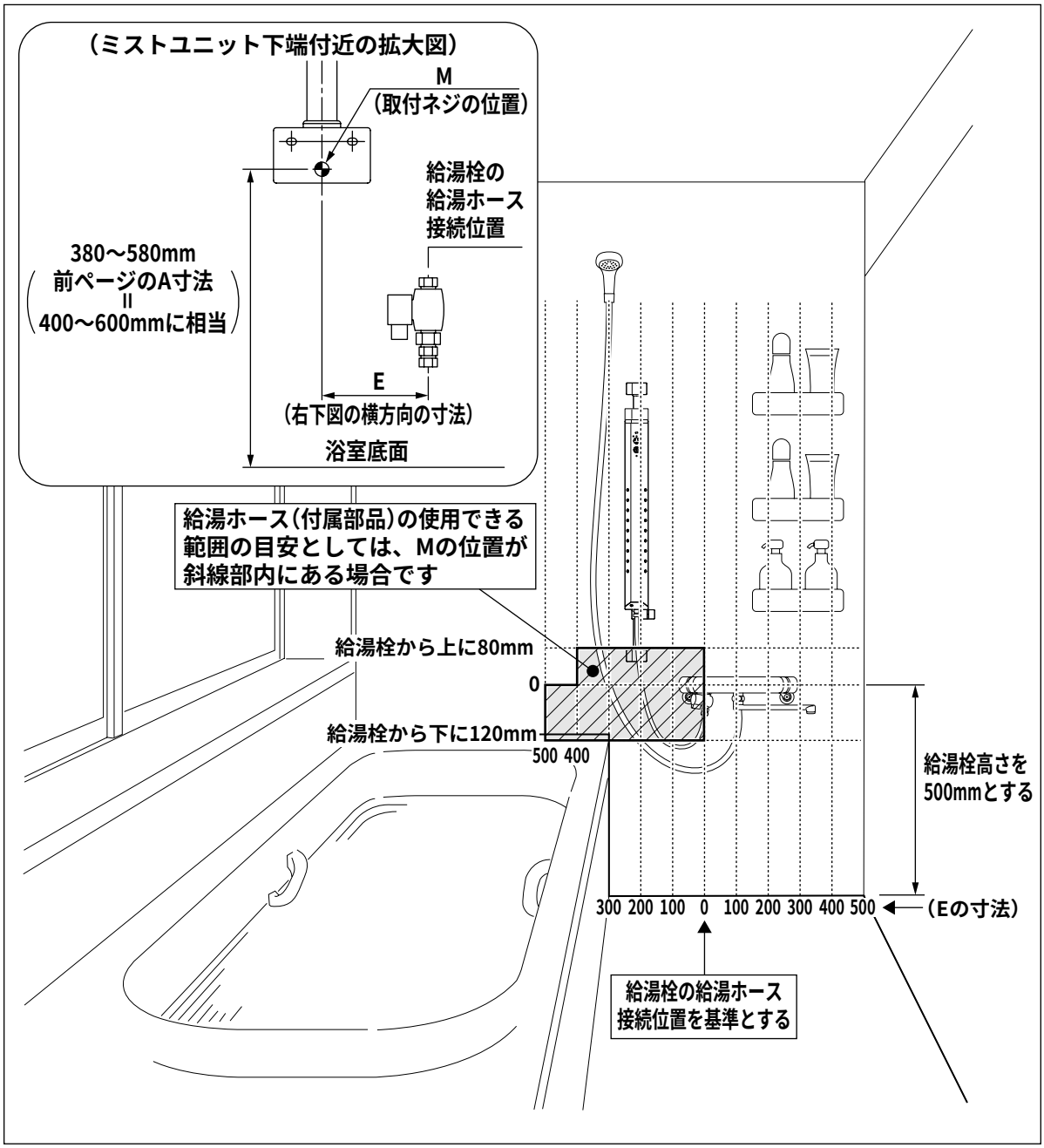


5.給湯ホース長さの選定

下図の点Mが、斜線部内であれば給湯ホース(付属部品)が使用できます。斜線部外では、給湯ホースAMU 1200L(別売品)または、給湯ホースAMU 1400L(別売品)を使用してください。

(給湯ホースが短い場合、ミストユニットを上限までスライドできない場合があります。
給湯ホースが長い場合、ミストユニットを下限までスライドさせると、給湯ホースが浴室底面について汚れてしまいます。)

給湯栓の設置位置など、現場の条件により異なります。給湯ホースの選定が困難な場合は、販売店または、弊社窓口に確認してください。



上記内容は一例です。

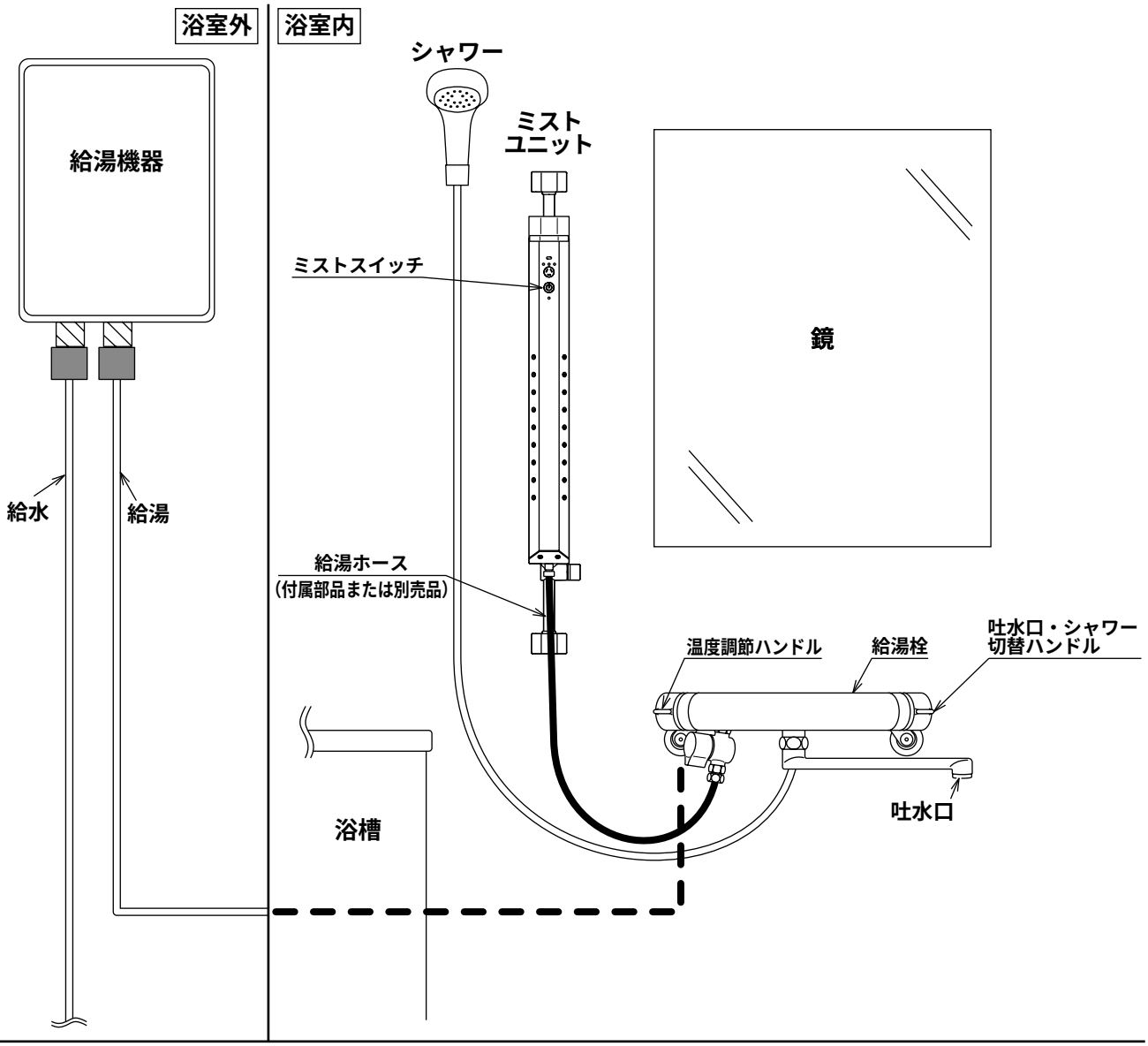
型紙を使用して浴室内に墨出しする前に、ミストユニットが上下にスライドしても給湯ホース長さに問題がないか確認します。

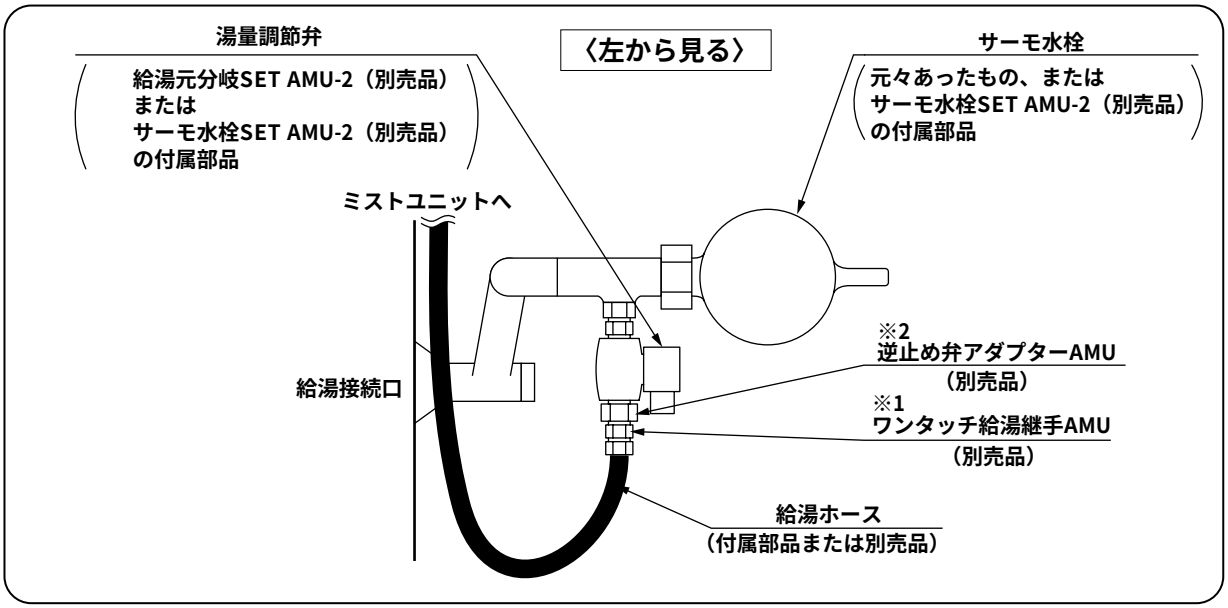
⚠注意

- 市販のシャワーホースやフレキ管は使用しないでください。
- 給湯ホースの位置により、リモコン操作に支障が出ないようにしてください。

4.システム配管図（施工例）

（イラストはサーモ水栓の場合の一例です。給湯栓の種類によって、使用する別売品が異なります）





※1　給湯ホース内の残水が凍結する場合に使用します。
※2　必要な場合に使用します。

5.部材の確認

■ 別売品（代表的なもののみ記載）　（単位表示を省略しているもの：mm）

1. 給湯元分岐 SET AMU-2（品コード：0501862）

名　　称	備　　考	個数
湯量調節弁セット	11ページのA・a、B・bのセット	1
やけど注意ラベル	（施工完了時、AMU本体に付属の2枚と併せて、4枚使用します）	2
その他	必要に応じて使用願います	―

2. 給湯元分岐 H SET AMU-2（品コード：0501865）

※まず、「7. 施工手順」の「■備考１」を確認願います。

名　　称	備　　考	個数
湯量調節弁セット	15ページのA・a、B・bのセット	1
やけど注意ラベル	（施工完了時、AMU本体に付属の2枚と併せて、4枚使用します）	2
ハイカット弁	シャワーホース側に使用	1
シャワー変換アダプター（7種類）	シャワーホースのネジ径により使用	1SET
その他	必要に応じて使用願います	―

シャワー変換アダプター（7種類）

ネジ径	給湯栓のメーカー名	個数
W19山24用	TOTO	1SET
W24山20用		
M24×1.5用		
W21山18用	YOKO	
M22×2用	KVK	
M22×1.5用	ガスターなど	
M23×1.5用	ミズタニなど	

3. サーモ水栓 SET AMU-2（品コード：0501863）

※まず、「7. 施工手順」の「■備考２」を確認願います。

名　　称	備　　考	個数
湯量調節弁セット	15ページのA・a、B・bのセット	1
やけど注意ラベル	（施工完了時、AMU本体に付属の2枚と併せて、4枚使用します）	2
サーモ水栓	壁面側はオネジで、W28山18	1
クランク	―	2
やけど防止カバー	―	1
その他	「サーモ水栓」などの中に、他の部品がありますが、必要に応じて使用願います。	―

4. エルボ AMU（品コード：0501631）

5. 給湯ホース AMU 1200L（品コード：0501632）・・・各接続口にパッキン（2 個）付属

6. 給湯ホース AMU 1400L（品コード：0501909）・・・各接続口にパッキン（2 個）付属

7. 逆止め弁アダプター AMU（品コード：0501633）

8. ワンタッチ給湯継手 AMU（品コード：0501634）

名　　称	個　数	備　　考
エルボ側	1	ホース内の残水が凍結する場合に使用
給湯ホース側	1	

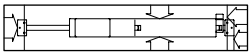
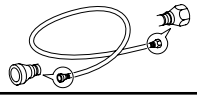
■ 現場手配品（代表的なもののみ記載）

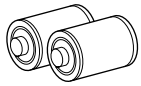
名　　称	個　数	備　　考
カールプラグ	6	在来浴室設置用 （トラスタッピンネジ4×30mmに適合するもの）
シリコン	―	―

6.付属部品の確認

取り付け前に確認します。（取扱説明書（保証書付）・本紙などを除く）

（単位表示を省略しているもの：mm）

NO.	部品名		個数
1	型紙		1
2	フィッシャープラグ （ユニットバスに設置する場合）		6
3	取付ネジ （トラスタッピンネジ4×30）		6
4	取付板カバー		2
5	給湯ホース （L＝1000） （接続口にパッキン付属）		1

NO.	部品名		個数
6	フィルター付き パッキン		1
7	やけど注意ラベル		2
8	単2形 アルカリ乾電池		2
9	アロマトレイ		1
10	アロマオイル （試供品）		1

7.施工手順

現場のサーモ水栓を使用する施工手順です。

（2 バルブの給湯栓を、そのまま使用する場合や、現場の給湯栓を取り外してサーモ水栓 に交換する場合は 15 ページを参照）

必ず水道メーターについている給水元栓を閉じてください。

⚠注意

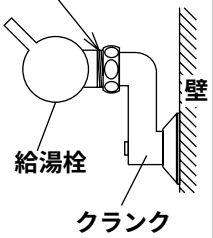
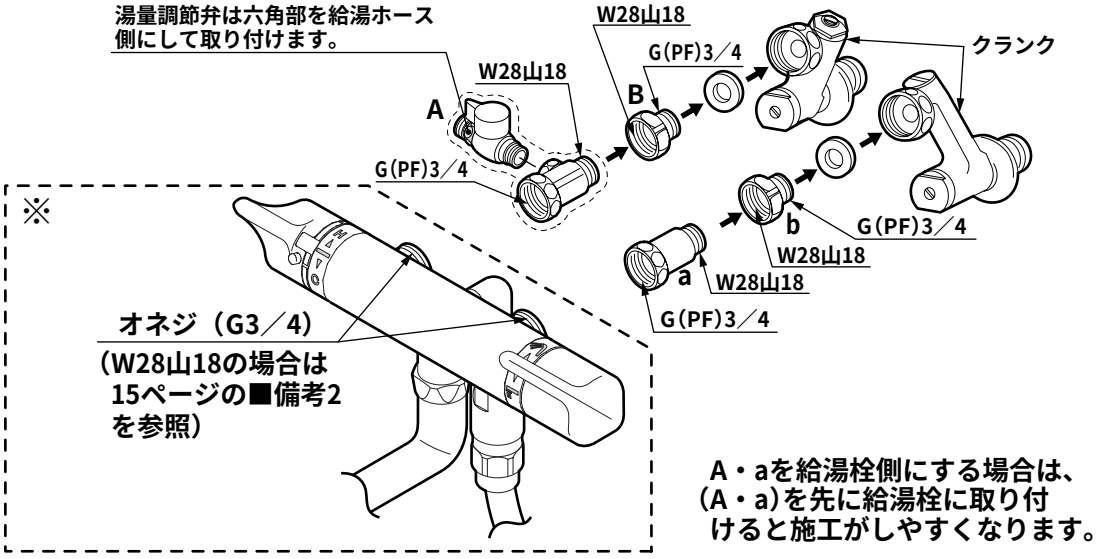
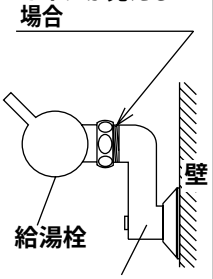
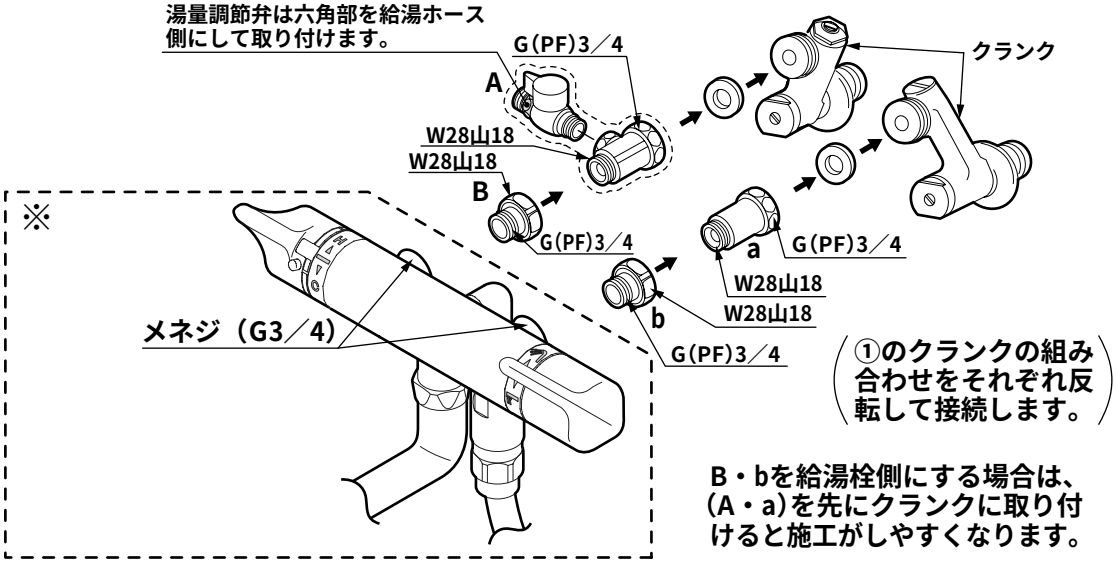
- **床は必ず養生し、給湯栓を外すときは床に落とさないように注意してください。**
- **パッキンの入れ忘れに注意してください。**
- **湯量調節弁の取り付け後、操作ができるかどうかお客様に確認してください。**

1. 使用する部材

●給湯元分岐SET AMU-2（別売品）

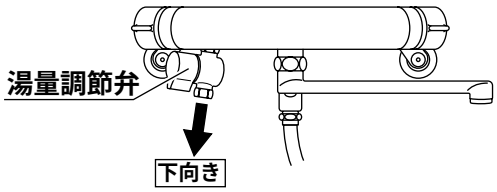
給湯栓により下表の「2.取付方法」を参照してAとB、aとbの組み合わせを変えて取り付けてください。

2. 取付方法

施工前の形状	手　　順
給湯栓本体側にオネジが見える場合  	①  A・aを給湯栓側にする場合は、（A・a）を先に給湯栓に取り付けると施工がしやすくなります。
クランク側にオネジが見える場合  	②  （①のクランクの組み合わせをそれぞれ反転して接続します。） B・bを給湯栓側にする場合は、（A・a）を先にクランクに取り付けると施工がしやすくなります。

3. 湯量調節弁の向き

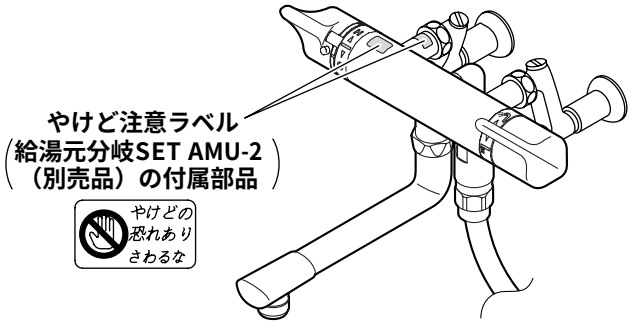
右図のように湯量調節弁を下向きに取り付けます。



4. やけど注意ラベルの貼り付け

右図のように2枚を貼り付けます。

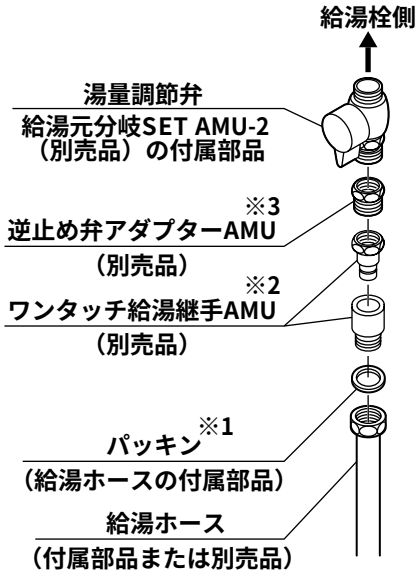
※ 湯量調節弁を取り付ける前に、元々やけど防止カバーが付いていた場合は、元のように取り付けてください。



5. 給湯栓側に給湯ホース接続

右図のように給湯ホースを取り付けます。
このとき使用するパッキンは、給湯ホースに付いているパッキンを使用してください。

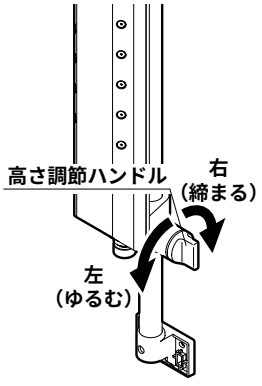
※1 給湯ホースに付属のパッキンです。
給湯ホースに付属のパッキンが1個余りますが、使用しません。
※2 給湯ホース内の残水が凍結する場合 に使用します。
※3 必要な場合に、使用します。

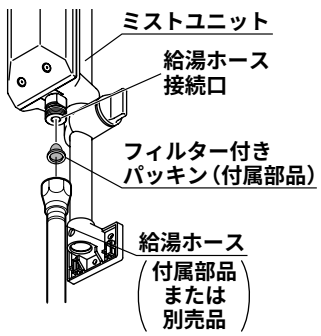


6. ミストユニット側に給湯ホース接続

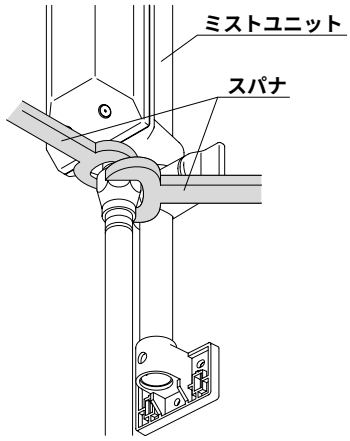
ミストユニットを高さ調節ハンドルで動かないようにします。
（ミストユニットと給湯ホースを接続する前に、排水して給湯ホースからごみを洗い流します。サビ、異物などが、ミストユニットに混入しないように注意します）
なお、設置場所により、給湯ホースAMU 1200L（別売品）、給湯ホースAMU 1400L（別売品）がありますので、お客様とよくご相談の上、設置します。

① ミストユニット下側の給湯ホース接続口に、給湯ホースを接続します。
このとき使用するパッキンは、「フィルター付きパッキン」です。（給湯ホースに付属のパッキンが1個余りますが、使用しません）

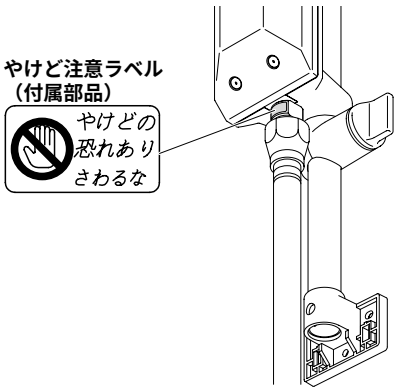




② 給湯ホース接続口にスパナをあて、給湯ホースの接続金具にもスパナをあてて締めます。

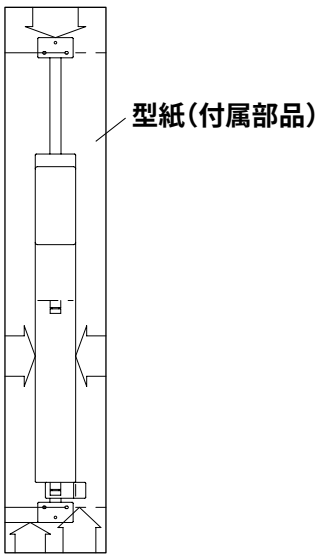


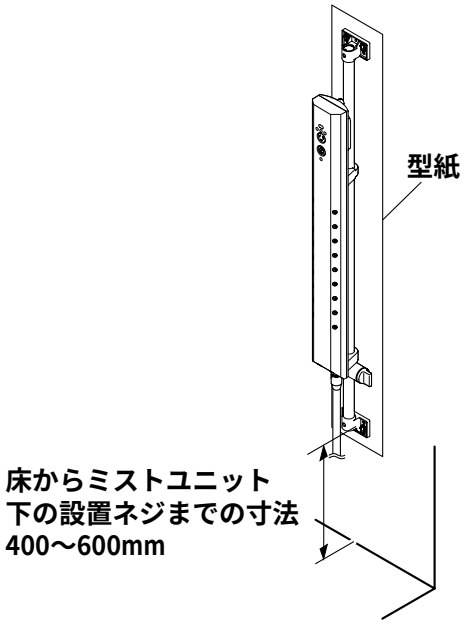
③ ミストユニットの給湯ホース接続口(曲面部)に、やけど注意ラベル(2枚)を、正面と背面に貼り付けます。



7. 浴室内の墨出し

① 上にスライドした時に給湯ホースが引っ張られ、スライドできないことがないように、また下にスライドした時に給湯ホースが床に着かないか確認します。
② 型紙を浴室の壁面に貼り付け、水平器でレベルだしをおこないます。(5ページの「3.取付スペース」を参照)
③ 型紙の上から、壁面に対して、ネジの下穴位置をマーキングします。
④ マーキングが終わったら、型紙を壁面より取り除きます。
(型紙は、破らないように注意してください)





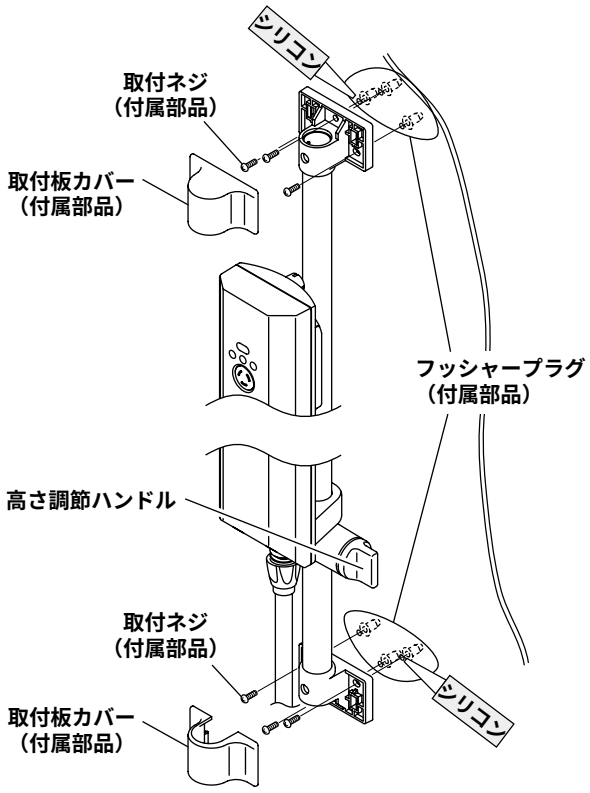
8. ミストユニットの設置

ミストユニットの設置前にお客様と相談して、高さ調節ハンドルを左右のどちら向きにするか決めます。

【ユニットバスの場合】

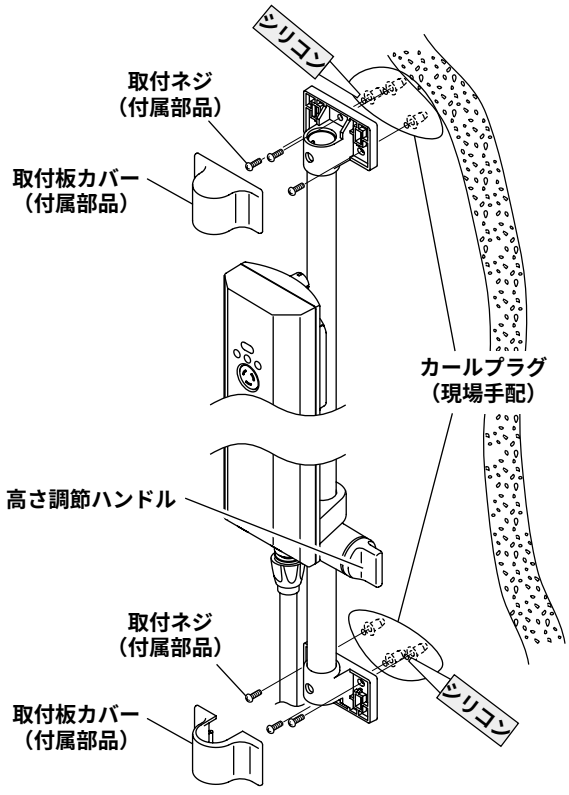
①型紙でマーキングした6カ所(右図・○印部)に、フィッシャープラグ用下穴(φ6mm)をあけて、フィッシャープラグを6カ所に打ち込み、フィッシャープラグの周囲にシリコン(現場手配)を塗布します。
(シリコンは、はみ出さないように注意します)
②ミストユニットを取付ネジにて壁面に仮止めします。
③ミストユニットが、床面に対して垂直になっているか確認して、壁面に固定します。
④取付板カバーを取り付けます。

> **⚠注意**
>
> **・ フィッシャープラグの下穴径はφ6.0mmにしてください。**
> **穴径が大きいとプラグのゆるみが生じるので、慎重に作業をおこなってください。**



【在来浴室の場合】

①型紙でマーキングした6カ所(右図・○印部)に、カールプラグ用下穴をあけて、カールプラグを6カ所に打ち込み、カールプラグの周囲にシリコン(現場手配)を塗布します。
(シリコンは、はみ出さないように注意します)
※カールプラグは、取付ネジ(トラスタッピンネジ4×30mm)に、適合するものを使用し、それに応じた下穴加工をしてください。
②ミストユニットを取付ネジ(トラスタッピンネジ4×30mm)にて壁面に仮止めします。
③ミストユニットが、床面に対して垂直になっているか確認して、壁面に固定します。
④取付板カバーを取り付けます。



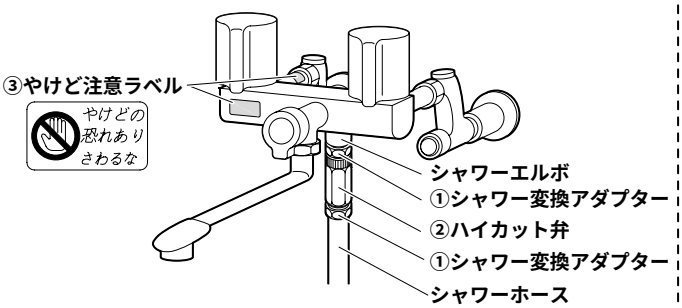
■備考1（2バルブの給湯栓の場合）

「7.施工手順」の内、相違点を下に記載します。

使用する部材

●給湯元分岐H SET AMU-2（別売品）

11ページのイラスト［※］箇所を右図（一例です）に差し替えたものになります。



シャワー変換アダプターのネジ径は7種類で、G1／2以外のときに使用します。
W19山24・W24山20・M24×1.5・W21山18・M22×2・M23×1.5・M22×1.5
（① ② ③は、給湯元分岐H SET AMU-2（別売品）の付属部品です）

■備考2（現場の給湯栓を取り外して交換する場合）

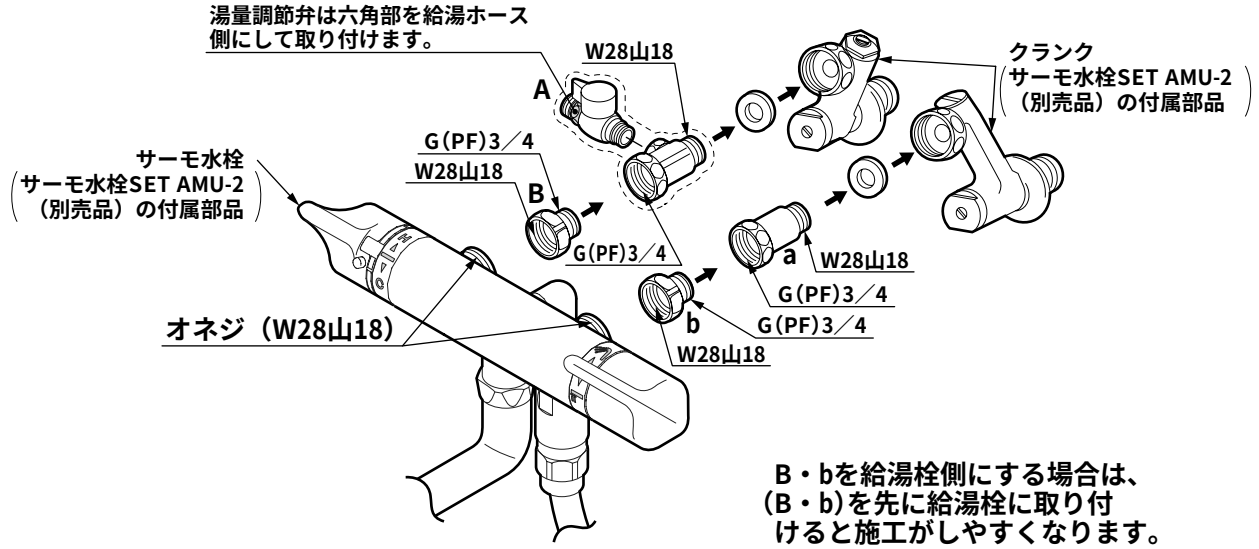
「7.施工手順」の内、相違点を下に記載します。

使用する部材

●サーモ水栓SET AMU-2（別売品）

（1）11ページの「取付方法」は下図のように内容が変わります。

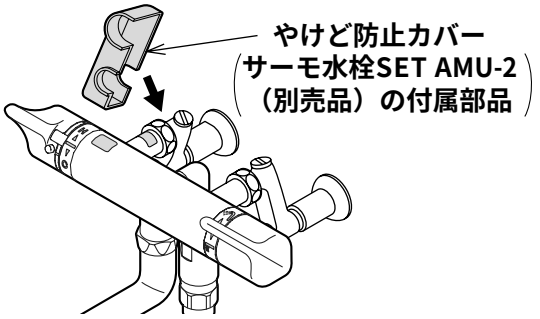
手　　順



B・bを給湯栓側にする場合は、
（B・b）を先に給湯栓に取り付けると施工がしやすくなります。

（2）12ページの「4.やけど注意ラベルの貼り付け」の後に、次の内容が追加になります。

給湯元クランクに、やけど防止カバーをしっかり差し込む。



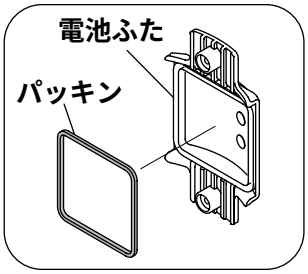
8.試運転

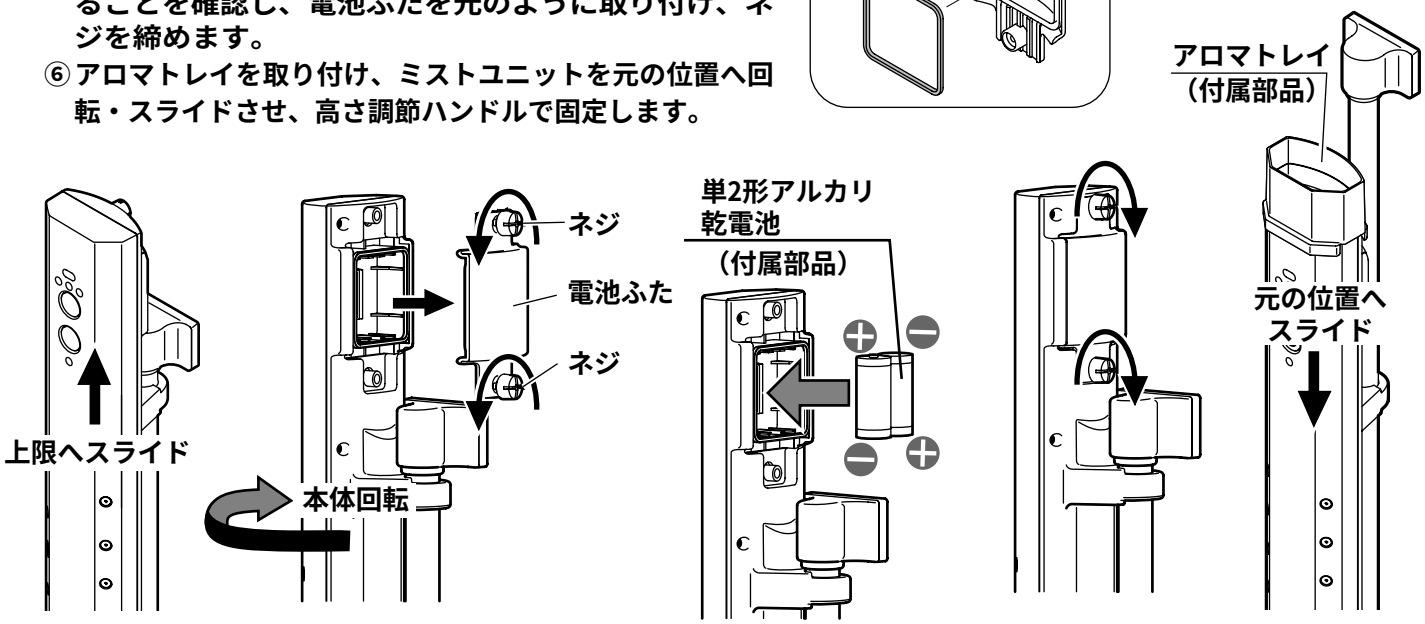
■試運転の準備ー乾電池・アロマトレイの取り付け

① 高さ調節ハンドルをゆるめ、上限へミストユニットをスライドさせます。
② 高さ調節ハンドルを締めて固定し、ミストユニットを回転させて背面を手前にします。
③ ネジ(2カ所)をゆるめて、ミストユニット裏面の電池ふたを外します。
④ 単2形アルカリ乾電池(2本)を「＋」「－」の表示に従って正しく入れます。
⑤ 電池ふたの内側に黒いパッキンが、まっすぐついていることを確認し、電池ふたを元のように取り付け、ネジを締めます。
⑥アロマトレイを取り付け、ミストユニットを元の位置へ回転・スライドさせ、高さ調節ハンドルで固定します。

⚠注意

※ 通水前に必ず乾電池を入れてください。そうしなければ、ミストスイッチを押していないのに、ミストが噴霧される場合があります。

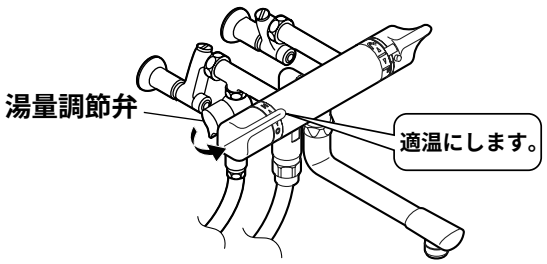




■試運転の開始

①給湯機器のリモコンの運転スイッチを「入」にします。
②給湯機器のリモコンの給湯温度を60℃(60℃に設定できない場合は、60℃に近いそれ以下の温度)に設定します。
③サーモ水栓の場合、給湯栓の温度調節ハンドルで、湯温の設定温度を「適温」(約40℃)にします。【図1】
④湯量調節弁を「ひらく」にします。

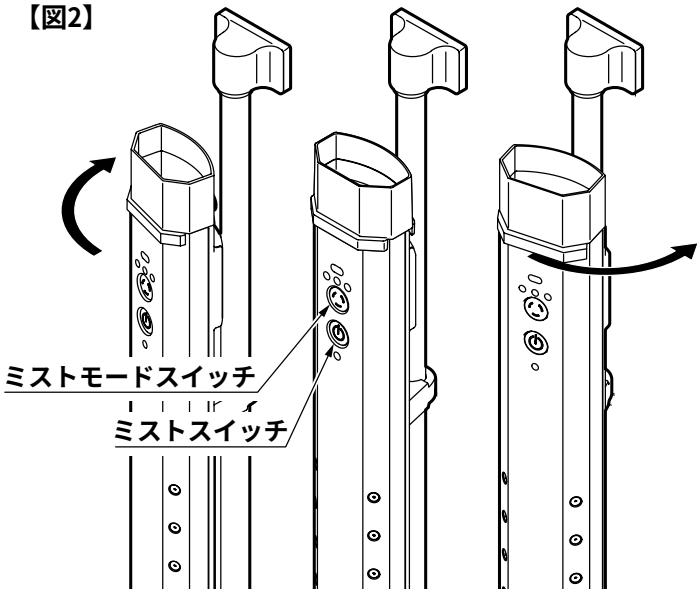
【図1】



（イラストは、サーモ水栓の場合の一例です）

⑤ミストユニットを回転させて、ミストユニットのミストスイッチをONにします。
【図2】
⑥約5秒後に各ノズルから、ミスト噴霧がされるのを確認します。給湯機器のリモコンの燃焼ランプが点灯しているか等を確認します。(噴霧されているミストが冷水になっていないか確認してください)
ミストモードスイッチを押して「ソフト」「リズム」に切り替わるか確認します。
⑦給湯温度60℃で噴霧し、高温注意ランプが点滅することを確認します。
(57℃～64℃で点滅します)
⑧(シャワーホース側にハイカット弁が設置されている場合)サーモ水栓でない場合は、そのまま(給湯温度60℃のまま)シャワーに切り替えて、シャワーからお湯が出ない(チョロチョロとしか出ない)ことを確認します。

【図2】

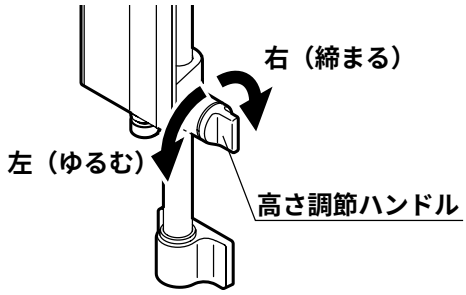


⑨給湯温度を40℃以下に下げて10秒後くらいに復帰する（シャワーからお湯が出る）ことを確認します。

⑩ミストユニットを回転させてミスト噴霧の向きを変更して、近くに設置されている浴室テレビや浴室リモコン等の液晶画面に直接当たらないかを、お客様に確認してもらいます。

⑪高さ調節ハンドルをゆるめてミストユニットが上下にスライドするか、また、高さ調節ハンドルを締めてミストユニットが固定できるか確認します。
【図3】

【図3】

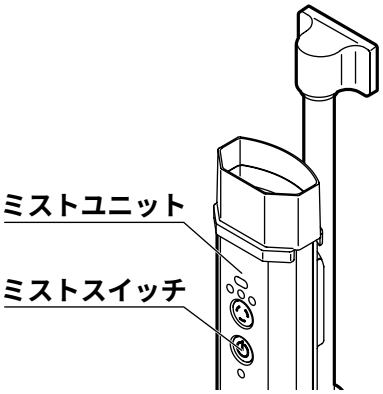


⚠注意

・給湯ホース接続口付近は熱くなっていますから、スライド時にやけどしないようにしてください。

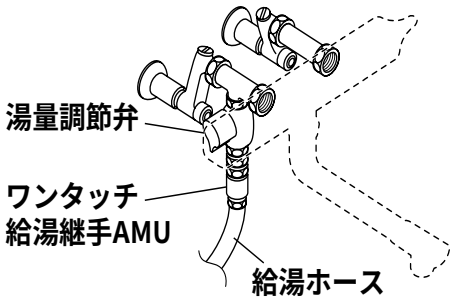
⑫ミストユニットのミストスイッチをOFFにします。
【図4】

【図4】



⑬湯量調節弁を「とじる」にします。
凍結が懸念される場合は、ワンタッチ給湯継手AMU（給湯ホース側）のところから給湯ホースを外します。
【図5】
さらに「ミストスイッチ」を押して、ミストユニット内と給湯ホース内の残水を出します。【図4】
その後、給湯ホースを元のように取り付けます。

【図5】



⚠注意

※ 湯量調節弁の付近は熱くなっていますから、操作時やけどしないようにしてください。

⑭給湯機器のリモコンで給湯温度設定を元の設定温度（約40℃）に戻します。
他栓での使用を考慮するためです。

⑮ミストユニットの試運転終了後は、浴室の床面などの水分をふき取り、換気扇を運転するなどで、浴室の換気を充分におこないます。

⑯ミストユニットに付いている水滴をふき取ります。

9. お客様への説明（試運転終了後）

● 取扱説明書（保証書付）に従って取扱方法をお客様に説明してください。

①運転前の浴室の準備

浴室内の窓やドアを閉じて、脱衣室などへのミスト（湿気）漏れに注意してください。

②給湯温度の設定

給湯機器の給湯温度は60℃以下に設定してください。

※60℃をこえた給湯温度にすると、ミスト運転が自動的に停止します。（お客様がご使用の際、やけど等を予防するため）

※ミスト噴霧を使用するときのみ、60℃（60℃に設定できない場合は、60℃に近いそれ以下の温度）にし、それ以外のときは給湯温度設定を約40℃にするなどお客様がご使用の設定温度にしてください。（やけど防止のため、適切な温度に戻してあることを確認します。

③ミスト運転での入浴使用時間

おすすめの入浴時間は約10分です。個人差がありますので無理のないようにしてください。体調が悪いときやお酒を飲んだ後などは使用しないでください。入浴前後には充分に水分を補給してください。

④ミスト運転と給湯の同時使用時の能力低下について

[おふろの自動お湯はりと同時に使用した場合]

給湯を優先するため自動お湯はりができなかったり、自動お湯はりを優先するため給湯ができなかったりして、ミスト噴霧量や能力が低下しますので、ミスト運転は同時におこなわないでください。

[キッチンや洗面からの給湯とミストを同時使用した場合]

給湯量が多い場合はミスト噴霧量が減ったり、給湯温度が安定せずに異常高温停止する場合があります。

⑤ミスト運転時間について

・ミスト運転を約50分間連続で運転すると、自動的に停止します。

※給湯機器が約60分間連続で運転すると消火するため、このような設定になっています。

・ミスト運転は給湯機器で沸かしたお湯を使います。（給湯温度に注意）

※ミスト運転中は、給湯温度を高温に設定しているため、ミスト運転停止後は、給湯温度を元に戻してください。（やけど予防のため）

⑥ミスト運転使用後

浴室の床面などの水分をふき取り、換気扇などで充分に浴室内を換気してください。

⑦ミスト使用後は給湯機器のリモコンの温度を約40℃にするなど、お客様がご使用の設定温度にしてください。

⑧アロマトレイとアロマオイル（試供品）の使い方を説明してください。

● 高温注意ランプの「点滅」は高温水（約60℃）が噴霧している状態で故障ではありません。ノズルに触らないように注意してください。

● 高温注意ランプの「点灯」は異常高温で停止した状態です。90秒後、2回ずつ点滅に変わりミストスイッチにてリセットできます。給湯温度を下げるまたは、他栓同時使用を控えてください。

● 「サーモ水栓以外で給湯元分岐」をご使用のお客様へ

シャワーから安全のため50℃以上のお湯が出ないようになっています。ミスト運転後、給湯温度を下げずにシャワーに切り替えた場合、シャワーのお湯が出ない（チョロチョロとしか出ない）状態になります。（ハイカット弁が作動）

すみやかに給湯栓の温度調節ハンドルで温度を下げてください。

● 保証書に必ず必要事項をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

● 引き渡しまで期間がある場合は、試運転確認後、ミストユニットの乾電池を抜き、取扱説明書（保証書付）とともにお客様にお渡しください。

10.外形寸法図

（単位：mm）